

会計区分	01	一般会計		令和 5 年度 事務事業調書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係		
大事業 C D	03	(目標)	—					中事業 C D	03	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	子ども遊園地維持管理経費					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—	
款項目	09	教育費	05	社会教育費	04	青少年育成費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度

(単位：千円)													
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額					
○ 経 費 計	1,201	子ども遊園地の維持管理に必要な経費を計上。					1,201	2,058	新規遊具の設置予定がないため、工事費は0円。				
1 報酬													
2 ～4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費	358						358	373					
1 消耗品費	58						58	21					
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料	300						300	352					
その他													
11 役務費													
12 委託料	244						244	243					
13 使賃料	599						599	599					
14 工事請負費								843					
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	1,201	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,201	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,201		1,201	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 1303】（青少年健全育成）「ちびっこ広場の遊具設置と点検」	
子どもが安心して遊ぶことができるように、安全に管理する。	
事業の概要	
子どもが安心して遊具を使用できるように年1回点検を行い、不良箇所がある場合は修繕を行う。	
事業の実績	
点検については年1回実施出来ている。 また、各自治会からの要望などにはできる限りの範囲で答えている。	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R05 年度末
	R06 年度末
	R07 年度末
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	
【課題】 遊具は安全性を考えて、数年スパンで整備していくなども考える。土地を借りている遊園地について、自治会に返して廃止や自治会の判断に任せるなど検討する。 点検による「D」判定の遊具については、順次更新が必要である。	

事務事業評価の結果（1次）	—	R05 年度の計画額	1,201	千円
事務事業評価の結果（2次）	—	R05 年度の上限額	1,201	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係				
大事業 C D	11	(目標)		-				中事業 C D	01	(施策)		-				
		(政策)								(主要な取り組み)						
小事業 C D	01	生涯学習関係運営経費					事業年度	R03 ～ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	講習参加者数		
款項目	09	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費	小事業区分	新規・継続			□ 成果目標がない	目標値	850	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	2,796	公民館講座でバス派遣業務委託をするため、業務委託費が増加 となっています。	2,752	1,614
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	2,320		2,320	1,494
8 旅費	3		3	
9 交際費				
10 需用費	158		158	106
1 消耗品費	20		20	1
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費	138		138	105
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	19		19	14
12 委託料	296		252	
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	2,796	基準額・補助率・歳入科目コード等	2,752	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	1,401		1,341	
5 一般財源	1,395		1,411	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 1202】（社会教育）「生涯学習活動の活性化」	
住民ニーズや時代背景を反映した講座の開催や、住民が企画・運営する「マイセルフ講座」の充実に努めるほか、公民館講座も開催し、多くの学習機会の提供を創設していく。	
事業の概要	
マイセルフ講座は、住民自身が講師となって講座を立ち上げ、前期・後期で受講者を募集し活動を支援していく。その他、定住自立圏共生ビジョンにより、美濃加茂市や他の加茂郡町村と連携しながら、情報誌の共同発行やホームページの作成・運営などを通じてお互いの講座を知ることができる環境を創り上げていく。あわせて、住民による自主的な学習活動グループへの支援を進める。	
事業の実績	
美濃加茂市との定住事業連携により情報誌の共同化が定着してきている。これまで開講できなかった講座が開講出来たり、参加者も増加している。マイセルフ講座の数も増えてきており、住民の方が多くの中から選択できる環境が整ってきている。 令和4年度 開講講座数 73講座 受講人数 739人 令和3年度実績 開講講座数 60講座 受講人数 619人 令和2年度実績 開講講座数 17講座 受講人数 161人 令和元年度実績 開講講座数 75講座 受講人数 837人 平成30年度実績 開講講座数 73講座 受講人数 843人	
事業の成果指標	事業の目標値
生涯学習に関する講座への参加者数	単位 人／年度
	R05 年度末 830
	R06 年度末 835
	R07 年度末 840
R05 年度の到達目標(課題・改善策等)	
〔課題〕定住自立圏推進事業に組み込むか、美濃加茂市と協議する。 講座後のサークル活動場所の調整、文化協会などへの勧誘。	

事務事業評価の結果(1次)	－	R05年度の計画額	2,796	千円
事務事業評価の結果(2次)	－	R05年度の上限額	2,796	千円
<特記事項>				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年度 事務事業調書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係				
大事業 C D	11	(目標)	—						中事業 C D	01	(施策)	—			
		(政策)	—								(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	02	高齢者学級運営経費						事業年度	R03 ~ R12						
款項目	09	教育費	05	社会教育費	06	高齢者学級費	小事業区分	新規・継続	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
									☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度	—		

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	103	公民館講座「鳩吹大学」にかかる講師謝金、事務費等	103	5
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	80		80	
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	23		23	5
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	103	基準額・補助率・歳入科目コード等	103	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	70		70	
5 一般財源	33		33	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 1202】（社会教育）「生涯学習活動の活性化」			
高齢期の学習の機会を広げ、高齢者自らの意欲とニーズによる学びを深める。			
事業の概要			
歴史や生活などの学習及び運動なども行い、受講者同士の交流も深めながら学習を実施していく。 鳩吹大学の実施。 実施回数 1 0 回/年			
事業の実績			
参加者も多く、色々な分野の学習ができる場として確立している。 令和 4 年度 鳩吹大学受講者 3 3 名 令和 3 年度 鳩吹大学受講者 3 3 名 令和 2 年度実績 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止 令和 元年度実績 鳩吹大学受講者 7 5 名 平成 3 0 年度実績 鳩吹大学受講者 7 2 名 平成 2 9 年度実績 鳩吹大学受講者 6 9 名			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			
毎年 4 0 名前後が同じ受講者となっているため、受講者増加につながるカリキュラムの工夫を行っていく。			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	103	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	103	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	06020000	教育課・社会教育係		
大 事 業 C D	11	(目標)	-					中 事 業 C D	02	(施策)	-				
		(政策)								(主要な取り組み)					
小 事 業 C D	01	公民館運営経費					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	公民館まつりなどのイベントへの外国籍住民参加者数			
款 項 目	09	教育費	05	社会教育費	02	公民館費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない	目標値	30	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	17,652	中央公民館の維持管理にかかる経費	14,367	17,399
1 報酬	2,459	社会教育指導員、図書室司書、夜間管理人の人件費	2,084	1,740
2 ～4給料手当等	495	などを計上	384	3,364
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費	84		83	80
9 交際費				
10 需用費	6,847		3,659	3,117
1 消耗品費	405		403	355
2 燃料費	36		32	4
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費	4,524		2,724	2,524
6 修繕料	1,882		500	234
その他				
11 役務費	603		669	595
12 委託料	6,697		6,555	7,967
13 使賃料	233		213	202
14 工事請負費			482	317
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	234		238	17
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	17,652	基準額・補助率・歳入科目コード等	14,367	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	914		921	
5 一般財源	16,738		13,446	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 1203】（社会教育）「社会教育施設の有効活用」 【★7次総 1204】（社会教育）「交流活動の活性化支援」 【★7次総 1205】（社会教育）「図書館の共同利用と読書活動の推進」 【★7次総 6105】（地域間交流・多文化共生）「外国籍住民との交流機会の充実」	
施設の利用調整や料金の適正化など、社会教育施設の有効な活用方法について検討を進め、将来的に施設管理の部分委託などの実施も検討しながら、将来的に指定管理者への委託が出来るかどうか見極めていく。	
事業の概要	
中央公民館における貸し館業務について、適正な団体への貸し出しと調整を行い、適正な維持管理を行っていく。維持管理では空調工事が終了したが、ホールの照明や音響設備の老朽化が見られるため、計画的な設備の更新を実施する。 平成24年度より料金形態を変更し、時間単位での貸し出しを行えるように変更した。	
事業の実績	
必要な修繕や定期的な保守管理も行っている。 R3年度実績 延べ1,063団体 11,388人利用（利用実績より）※学びのとびら込み R2年度実績 延べ 672団体 9,232人利用（利用実績より）※学びのとびら込み R元年度実績 延べ1,573団体 16,618人利用（利用実績より）※学びのとびら込み H30年度実績 延べ1,624団体 27,456人利用（利用実績より）※学びのとびら込み H29年度実績 延べ 958団体 16,189人利用（利用実績より）※学びのとびら無し	
事業の成果指標	事業の目標値
公民館まつりなどのイベントへの外国籍住民参加者数	単位 人／年度
	R05 年度末 15
	R06 年度末 15
	R07 年度末 15
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	
各種教室が開催できるよう、適正な管理運営に努め、公民館祭りの実施を行う。 公民館は建築から20年以上経過しているため、計画的な改修などが必要となってくる。 将来的にはトイレの洋式化、音響・照明関係、視聴覚室の整備など。	

事務事業評価の結果（1次）	－	R05 年度の計画額	17,652	千円
事務事業評価の結果（2次）	－	R05 年度の上限額	17,652	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	06020000	教育課・社会教育係		
大事業 C D	11	(目標)	-					中事業 C D	02	(施策)	-				
		(政策)								(主要な取り組み)					
小事業 C D	02	社会体育施設管理経費					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	社会教育施設・学校開放施設の稼働率			
款項目	09	教育費	06	保健体育費	03	体育施設費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない	目標値	85.0	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)													
	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額					
○ 経 費 計	7,705	社会体育施設電気使用料については原料や物価の高騰に合わせて令和4年度実績より上昇させています。 水道料は令和4年度実績により令和4年度と同額としています。					6,352	7,576					
1 報酬													
2 ～4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費	5,483						4,168	5,069					
1 消耗品費	483						476	279					
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費	4,500						3,192	3,135					
6 修繕料	500						500	1,655					
その他													
11 役務費	245						246	275					
12 委託料	1,768						1,750	1,645					
13 使賃料	209						188	175					
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費								412					
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	7,705	基準額・補助率・歳入科目コード等	6,352	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	5,803		5,816	
5 一般財源	1,902		536	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1502】（社会体育）「社会体育施設の有効活用」

多くの町民の方の生涯スポーツ実施のため、安心して使用できるスポーツ施設の維持管理を行う。また、各種団体・競技への適正な振り分けを行い、町民全体のためとなる施設運用を行う。

事業の概要

多くの町民の方の生涯スポーツ実施のため、安心して使用できるスポーツ施設の維持管理を行う。また、各種団体・競技への適正な振り分けを行い、町民全体のためとなる施設運用を行う。

事業の実績

令和4年度実績 社会体育施設の稼働率（10月末分まで）55% 5年度目標 70%
令和4年10月末時点の社会体育施設貸出状況は、新型コロナウイルス感染対策を講じながらではあるが、貸出を中止することはなかった。
感染拡大防止のため、使用可能団体を町内団体のみに制限したため、利用率が減少した。
施設の点検を職員にて毎週1回は行い、安全な使用ができるように維持管理を行っている。

事業の成果指標

社会体育施設及び学校開放施設の稼働率（※主要14施設）

事業の目標値	
単位	%／年度
R05 年度末	81
R06 年度末	82
R07 年度末	82

R05年度の到達目標（課題・改善策等）

施設や種目別用具の老朽化への対応
平成24年度に見直しした施設利用料についても、周辺市町村との比較などを行いながら、適正な価格での貸し出しが出来るように、消費増税や物価高騰などに合わせた使用料の見直しをさらに検討していく。また、合わせて予約システムの導入についても検討を行う。

事務事業評価の結果（1次）	－	R05年度の計画額	7,705	千円
事務事業評価の結果（2次）	－	R05年度の上限額	7,705	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	06020000	教育課・社会教育係		
大事業 CD	11	(目標)		—				中事業 CD	02	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 CD	03	町民ふれあいプール管理経費				事業年度	R03 ～ R12	成果目標		☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	09	教育費	06	保健体育費	05	プール管理費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)													
	R05年度 予算要求額	当該年度の事業詳細等					前年度(04年度) 当初予算額	03年度 決算額					
○ 経費 計	2,299	施設の維持のみの経費とし、また坂祝スポーツクラブの筋トレ教室等を継続実施するため、管理棟施設、トイレ施設は今後も管理を続け、電気・水道、消防設備及び浄化槽等維持管理経費のみ計上します。					7,300	2,020					
1 報酬		電気代については、原料や物価高騰に合わせて増額しています。											
2 ～4給料手当等		。											
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費	904						604	634					
1 消耗品費													
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費	804						504	524					
6 修繕料	100						100	110					
その他													
11 役務費	12						62	52					
12 委託料	1,383						1,376	1,334					
13 使賃料													
14 工事請負費							5,258						
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財源 計	2,299	基準額・補助率・歳入科目コード等	7,300	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	200			
5 一般財源	2,099		7,300	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1502】（社会体育）「社会体育施設の有効活用」

プールとしての利用は廃止されたが、施設の維持は必要であるため、最低限の施設維持管理。

事業の概要

プールとしての利用は令和2年度に廃止したが、施設の維持は必要であるため、最低限の施設維持管理を行う。

事業の実績

坂祝スポーツクラブの事業実施の施設として活用しています。

事業の成果指標

事業の目標値

単位

R05 年度末

R06 年度末

R07 年度末

R05 年度の到達目標（課題・改善策等）

引き続き施設の維持管理のみを行います。

事務事業評価の結果（1次）	—	R05年度の計画額	2,299	千円
事務事業評価の結果（2次）	—	R05年度の上限額	2,299	千円
<特記事項>				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係		
大事業 C D	11	(目標)	—					中事業 C D	03	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	図書室運営経費				事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	09	教育費	05	社会教育費	07	図書館運営費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)													
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額					
○ 経 費 計	1,635	子どもの読書活動委員報酬					1,594	1,375					
1 報酬	108	各種消耗品					108	44					
2 ～4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費	130	図書購入費					99						
8 旅費	10												
9 交際費		公共図書館連絡協議会負担金											
10 需用費	1,232						1,232	182					
1 消耗品費	1,199						1,199	182					
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料	33						33						
その他													
11 役務費	6						6	5					
12 委託料	146						146	145					
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費								996					
18 負補交	3						3	3					
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	1,635	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,594	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,635		1,594	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 1205】（社会教育）「図書館の共同利用と読書活動の推進」			
近隣市町との図書貸し出しシステムの連携の充実を図り、利用者の利便性向上を進める。			
【令和元年度 図書システム更新】 公民館パソコン 3 台（事務所 1 台・図書室 2 台）システム更新			
事業の概要			
図書の貸し出し業務を行う。（平成 2 3 年度より定住自立共生ビジョンにより図書システムの連携を開始し、相互貸借や、インターネットでの検索・予約が開始され、美濃加茂市中央図書館への搬入やインターネットによる発注などの業務を実施。） 中央公民館図書室の施設の整備・システムの充実・各種サークル活動への助言などを行う。 図書専用のホームページから蔵書検索や本の予約なども出来る。 子どもに対してはの乳幼児期からの「よみきかせ」に多く触れてもらうよう機会などをつくり乳幼児期・幼児期からの子どもの読書活動を行う。			
事業の実績			
R03年度実績	中央公民館図書室貸し出し冊数	22,562冊／R3年度目標	19,000冊
R02年度実績	中央公民館図書室貸し出し冊数	14,719冊／R2年度目標	19,000冊
R元年度実績	中央公民館図書室貸し出し冊数	23,274冊／31年度目標	19,000冊
H30年度実績	中央公民館図書室貸し出し冊数	21,701冊／30年度目標	19,000冊
H29年度実績	中央公民館図書室貸し出し冊数	20,865冊／29年度目標	19,000冊
H28年度実績	中央公民館図書室貸し出し冊数	19,582冊／28年度目標	18,000冊
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	1,635	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	1,635	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年度 事務事業調査							事業主体	06020000	教育課・社会教育係		
大事業 C D	11	(目標)	－				中事業 C D	04	(施策)	－					
		(政策)	－						(主要な取り組み)	－					
小事業 C D	01	スポーツレクリエーションフェスティバル執行経費				事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	－				
款項目	09	教育費	06	保健体育費	02	保健体育振興費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	－		目標年度	－

		(単位: 千円)	
	R O 5年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04年度) 当初予算額
○ 経費 計	600	R4年度よりスポーツレクリエーションフェスティバルとして形式を変更して開催。	300
1 報酬			0
2 〜4給料手当等			
5 災害補償費			
7 報償費			
8 旅費			
9 交際費			
10 需用費			
1 消耗品費			
2 燃料費			
3 食糧費			
4 印刷製本費			
5 光熱水費			
6 修繕料			
その他			
11 役務費			
12 委託料			
13 使賃料			
14 工事請負費			
15 原材料費			
16 公財購			
17 備品購入費			
18 負補交	600		300
19 扶助費			
20 貸付金			
21 補てん賠			
22 償利割			
23 投資出資金			
24 積立金			
25 寄附金			
26 公課費			
27 繰出金			

○ 財源 計	600	基準額・補助率・歳入科目コード等	300	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財			5	
5 一般財源	600		295	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 1501】（社会体育）「スポーツ大会などの開催・支援」	
住民が気軽に参加できる軽スポーツ大会を継続して実施するとともに、スポーツレクリエーションフェスティバルの開催を支援する。	
事業の概要	
スポーツレクリエーションフェスティバルの開催にあたり、実行委員会による開催の成功のため、補助金の交付や人員の補助などを行う。 町内各種競技団体にも参加してもらい、より坂祝町の生涯スポーツが発展できるように努める。	
事業の実績	
令和4年度より新規開催。15の体験ブースの出展と2店のキッチンカーの出店を行い、軽トラ市も同時開催することで約500人の集客があった。	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R05 年度末
	R06 年度末
	R07 年度末
R05 年度の到達目標(課題・改善策等)	
令和4年度より新規開催したが、引き続き多くの方に来場してもらえるイベントとして開催を目指す。	

事務事業評価の結果（１次）	－	R05年度の計画額	600	千円
事務事業評価の結果（２次）	－	R05年度の上限額	600	千円
<特記事項>				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係	
大事業 C D	11	(目標)	—				中事業 C D	04	(施策)	—			
		(政策)	—						(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	02	日本ラインロマンチック街道マラソン執行経費				事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	09	教育費	06	保健体育費	02	保健体育振興費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	396	記念品、消耗品、とん汁ガス代等	387	0
1 報酬		参加者保険代		
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費		仮設トイレ、自治会トイレ借り上げ料		
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	267		261	
1 消耗品費	260		255	
2 燃料費	7		6	
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	79		80	
12 委託料				
13 使賃料	50		46	
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	396	基準額・補助率・歳入科目コード等	387	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	200		200	
5 一般財源	196		187	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 1501】（社会体育）「スポーツ大会などの開催・支援」	
町内外の方が気軽に参加できる大会を開催することで町民の生涯スポーツ発展に努め、また坂祝町のPRを行う。	
事業の概要	
日本ラインロマンチック街道マラソン大会を開催する。 坂祝町酒倉一色公民館をスタートして、風光明媚な木曽川からの風を感じながら、日本ラインロマンチック街道を走り 抜け、新年のスタートとともに体力・健康づくりに寄与する。	
事業の実績	
令和４年度 参加申込み人数２６３人、 令和３年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和２年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和元年度 参加申込み人数３８８人、参加者数３６２人	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R05 年度末
	R06 年度末
	R07 年度末
R05 年度の到達目標(課題・改善策等)	
令和４年度は3年ぶりに開催したが申込者は過去より減少したため、引き続き円滑な運営とできるように準備を進めた い。	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	396	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	396	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係		
大事業 C D	11	(目標)		—				中事業 C D	05	(施策)		—		
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—		
小事業 C D	02	社会体育振興経費				事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—	
款項目	09	教育費	06	保健体育費	02	保健体育振興費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	2, 900	町主催体育行事にかかる事務費の支出	1, 223	501
1 報酬				
2 ～4給料手当等		加茂郡体育協会、加茂郡レクリエーション協会への負担金		
5 災害補償費				
7 報償費	1, 728	町体育協会、町スポーツ少年団への育成補助金		
8 旅費				
9 交際費		郡・地区・県体育大会等選手派遣補助金		
10 需用費	20		14	
1 消耗品費	20		14	
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	2		2	
12 委託料			176	
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	1, 150		1, 031	501
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	2, 900	基準額・補助率・歳入科目コード等	1, 223	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	2, 900		1, 223	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 1501】 (社会体育) 「スポーツ大会などの開催・支援」 【★ 7 次総 1503】 (社会体育) 「スポーツ活動の推進・支援」 【★ 7 次総 1504】 (社会体育) 「スポーツ少年団活動の支援」 【★ 7 次総 1505】 (社会体育) 「体育協会活動支援」			
町スポーツ団体の育成及び社会体育の推進を図る。			
事業の概要			
社会体育関係団体への負担金や体育協会・スポーツ少年団の育成に係る費用等の社会体育振興に係る経費を支出する。			
事業の実績			
令和 4 年度は、2 年振りに加茂郡体育大会・可茂地区体育大会・県民スポーツ大会が開催され、町からは延べ 2 9 8 名が参加した。加茂駅伝、清流駅伝等の駅伝大会も開催された。			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標(課題・改善策等)			
スポーツ少年団、体育協会など登録者の人数が減少しているため、その増加が図れるよう各団体に働きかけていく。 また中学校の部活動地域移行にかかる受皿である中学校クラブの支援をしていく。			

事務事業評価の結果(1 次)	—	R05 年度の計画額	2, 900	千円
事務事業評価の結果(2 次)	—	R05 年度の上限額	2, 900	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計				令和 5 年度 事務事業調書				事業主体	06020000	教育課・社会教育係			
大事業 C D	12	(目標)	—				中事業 C D	00	(施策)	—					
		(政策)	—						(主要な取り組み)	—					
小事業 C D	01	家庭教育学級推進事業（就学後）				事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	09	教育費	05	社会教育費	03	家庭教育学級費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度	—	

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	91	家庭教育学級における講演会の講師謝金の支払い	91	0
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	90		90	
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	1		1	
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	91	基準額・補助率・歳入科目コード等	91	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	91		91	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 1201】（社会教育）「家庭の教育力の向上」			
子育てを行う家庭の教育力の向上のため、家庭教育学級を実施する。			
事業の概要			
家庭教育学級（各学校単位及）を開催。講師謝金などを町で負担し、家庭教育の教育力向上を図る。			
事業の実績			
小学校及び中学校により各 P T A を対象に年間を通じ家庭教育学級を開催できているが、報告書等によると参加者数が伸び悩んでいる。 令和 4 年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和 3 年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和 2 年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和元年度 花まる学習会 相澤 樹 氏 平成30年度 慶應義塾 中室牧子 氏 平成29年度 読書講座			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			
事業の実施タイミングや内容の精査のほか、親に対する意識改革が必要である。 参加者数の増加			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	91	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	91	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係		
大事業 C D	12	(目標)	—					中事業 C D	08	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	02	青少年育成経費				事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	09	教育費	05	社会教育費	04	青少年育成費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)												
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額				
○ 経 費 計	600	青少年育成推進員報酬、青少年育成推進指導員謝金					600	273				
1 報酬	243						243	216				
2 ～4給料手当等		可茂地区青少年育成推進指導員協議会負担金										
5 災害補償費		美濃加茂市国際交流協会海外研修負担金<<中学生1人>>										
7 報償費	27						27	27				
8 旅費												
9 交際費												
10 需用費												
1 消耗品費												
2 燃料費												
3 食糧費												
4 印刷製本費												
5 光熱水費												
6 修繕料												
その他												
11 役務費	10						10	10				
12 委託料												
13 使賃料												
14 工事請負費												
15 原材料費												
16 公財購												
17 備品購入費												
18 負補交	320						320	20				
19 扶助費												
20 貸付金												
21 補てん賠												
22 償利割												
23 投資出資金												
24 積立金												
25 寄附金												
26 公課費												
27 繰出金												

○ 財 源 計	600	基準額・補助率・歳入科目コード等					600	
1 国庫支出金								
2 県支出金								
3 町債								
4 その他特財								
5 一般財源	600						600	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 1301】（青少年健全育成）「青少年の健全育成」 【★7次総 1305】（青少年健全育成）「青少年の適切な見守り活動の推進」 小・中学校から青年期までの健全育成を目指す。			
事業の概要			
推進員と青少年の交流機会をつくったり、町内のコンビニやスーパーの有害図書、夜間の見回り活動などを行う。 美濃加茂国際交流協会海外派遣負担金（300千円）を支出する。 平成23年度より中学生1名のオーストラリアダボ市への研修も開始。			
事業の実績			
青少年育成推進員の年間を通じた活動や、啓発活動を実施。 令和4年度活動見込 21回 令和3年度活動実績 10回 令和2年度活動実績 13回 令和元年度活動実績 20回 平成30年度活動実績 20回			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			
あいさつ活動の継続、7月の青少年の非行・被害防止全国強調月間における町内巡回の継続。			

事務事業評価の結果（1次）	—	R05 年度の計画額	600	千円
事務事業評価の結果（2次）	—	R05 年度の上限額	600	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係	
大事業 CD	12	(目標)	—					中事業 CD	08	(施策)	—		
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—		
小事業 CD	03	青少年育成町民会議運営経費				事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	09	教育費	05	社会教育費	04	青少年育成費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	133	各部会の講師謝金	155	51
1 報酬		青少年育成町民の集いの記念品代、事務費等		
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	62		62	
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	40		62	24
1 消耗品費	40		62	24
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	25		25	21
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	6		6	6
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	133	基準額・補助率・歳入科目コード等	155	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	4		4	
5 一般財源	129		151	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 1301】（青少年健全育成）「青少年の健全育成」 【★7次総 1302】（青少年健全育成）「あいさつ運動の推進」	
小・中学校から青年期までの健全育成を目指す。	
事業の概要	
2つの部会の活動で、あいさつ活動を行ったり、夜間の見回り活動を行う。	
事業の実績	
町民の集い、各部会活動など順調に行えている。 【R2年度実績】 町民の集い 参加者制限して実施 町民会議全体 あいさつ運動（毎月） ※中学校全校福祉活動への協力 ※小学校PTA環境整備活動は中止 家庭部会・青少年部会 合同企画 1回 【R3年度実績】 町民の集い 1 2月に実施 町民会議全体 あいさつ運動（毎月） 中学校全校福祉活動への協力 ※小学校PTA環境整備活動は中止 青少年部会 1企画 家庭部会 1企画	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R05 年度末
	R06 年度末
	R07 年度末
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	
コロナ禍でもできる青少年育成に関する企画の実施。	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	133	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	133	千円
<特記事項>				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年度 事務事業調書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係				
大事業 C D	12	(目標)	-						中事業 C D	08	(施策)	-			
		(政策)									(主要な取り組み)				
小事業 C D	04	子ども会育成協議会活動経費				事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☒ 成果目標がある	成果指標	子ども会の会員割合			
款項目	09	教育費	05	社会教育費	04	青少年育成費	小事業区分	新規・継続		☐ 成果目標がない	目標値	90.0	目標年度	令和12年度	

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	132	可茂地区子ども会育成協議会負担金	132	17
1 報酬		町子ども会育成協議会補助金		
2 〜4給料手当等		町子ども会青少年育成補助金		
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	132		132	17
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	132	基準額・補助率・歳入科目コード等	132	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	132		132	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 1304】（青少年健全育成）「子ども会・ジュニアリーダーの育成」 小・中学生の健全育成を目指す。	
事業の概要 子ども同士が仲良く活動でき、仲間づくりなどが積極的に出来る環境を作るように支援し、子ども会の会員を増やしていく。	
事業の実績 育成協議会の定例会やふれあい交流会（チャレラン）などを開催し、多くの事業展開が出来ている。 小学校1年生から中学校2年生までの子ども会の会員割合 令和 4 年度 82.1% (468人/570人) 令和 3 年度 86.9% (485人/558人) 令和 2 年度 84.1% (487人/579人) 令和 元年度 86.3% (489人/566人) 平成 3 0 年度 88.3% (494人/559人)	
事業の成果指標	事業の目標値
小学校 1 年生から中学校 2 年生までの児童生徒のうち子ども会の会員割合	単位 % R05 年度末 87 R06 年度末 88 R07 年度末 88
R05 年度の到達目標（課題・改善策等） 子ども会に関しては、これまで毎月のように行っていた定例会が各子ども会の育成会長の負担になるようで、減らす必要がある。 ジュニアリーダーの育成に関しては、レクリエーションを実施できる機会を増やす必要がある。	

事務事業評価の結果（1 次）	－	R05 年度の計画額	132	千円
事務事業評価の結果（2 次）	－	R05 年度の上限額	132	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係	
大事業 C D	12	(目標)	—					中事業 C D	08	(施策)	—		
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—		
小事業 C D	05	二十歳を祝う会式典執行経費				事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	09	教育費	05	社会教育費	04	青少年育成費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	3, 911	郷土記念飛行で使用するヘリコプターが新しい機体になったことに伴い、空輸料及び貸切飛行料金が増加となっています。 また、ヘリコプターを2機使用することとなっていますが、そのうち1機が大阪府の八尾空港から手配されるため、空輸料が増加となっています。	4, 744	3, 520
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	22		22	11
1 消耗品費	22		22	11
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	229		229	176
12 委託料	231		231	440
13 使賃料	3, 429		4, 262	2, 893
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	3, 911	基準額・補助率・歳入科目コード等	4, 744	
1 国庫支出金			1, 500	
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	3, 911		3, 244	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★7次総 1301】（青少年健全育成）「青少年の健全育成」		
郷土への愛着を持ってもらうことで青少年の健全育成を目指す。		
事業の概要		
坂祝町出身、在住の二十歳を対象に二十歳を祝う会を開催する。 坂祝町で生まれ育ってきた二十歳の方たちに、ヘリコプターによる郷土飛行をしてもらい郷土への愛着を更に持ってもらう。		
事業の実績		
実行委員を募集し、式典の第2部を実施。二十歳が搭乗する郷土遊覧飛行も好評。 R 3 年度（令和4年1月8日開催） 対象者数 8 4 人 参加者数 6 5 人 ヘリ搭乗者数 6 2 人 実行委員 1 1 人（男6名、女5名）		
R 2 年度（令和3年1月10日開催）		事業の目標値
事業の成果指標		単位
		R05 年度末
		R06 年度末
		R07 年度末
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）		
これまで以上に実行委員の招集を早くすることで、準備を重ね、参加者の記憶に残る会にしたい。		

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	3, 911	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	3, 911	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係		
大事業 C D	14	(目標)	—					中事業 C D	01	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	文化財保護経費				事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	09	教育費	05	社会教育費	09	文化財保護費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)														
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額						
○ 経 費 計	9,900	郷土資料館運営委員報酬、文化財保護審議会委員報酬					2,784	563						
1 報酬	120						120	32						
2 ～4給料手当等		火塚古墳敷地除草業務委託												
5 災害補償費														
7 報償費		郷土資料館内部移設費用 (R4新規)												
8 旅費														
9 交際費		県歴史資料保存協会負担金												
10 需用費	11	町郷土史研究会補助金					14	2						
1 消耗品費	11	指定文化財保護事業補助金					11	2						
2 燃料費							3							
3 食糧費		◆郷土資料館を小学校ランチルームに移設するための工事等を行う。(中身の移動は令和4年度に終了)												
4 印刷製本費														
5 光熱水費														
6 修繕料														
その他														
11 役務費	13						13	8						
12 委託料	792						2,187	156						
13 使賃料							404	360						
14 工事請負費	7,796													
15 原材料費														
16 公財購														
17 備品購入費	1,122													
18 負補交	46						46	5						
19 扶助費														
20 貸付金														
21 補てん賠														
22 償利割														
23 投資出資金														
24 積立金														
25 寄附金														
26 公課費														
27 繰出金														

○ 財 源 計	9,900	基準額・補助率・歳入科目コード等					2,784	
1 国庫支出金								
2 県支出金	30						30	
3 町債								
4 その他特財	9,263							
5 一般財源	607						2,754	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★7次総 1401】（文化芸術・文化財）「文化財の保護と活用」

町内にある文化財について、適正な維持管理を行う。
その他に郷土資料館の維持管理や運営についても行う。

事業の概要

町内にある文化財の維持管理
郷土資料館の維持管理及び運営

事業の実績

郷土資料館の開館日 5日／年

事業の成果指標

事業の目標値

単位

R05 年度末

R06 年度末

R07 年度末

R05 年度の到達目標（課題・改善策等）

郷土資料館の移転（農協の3階から）について、スムーズに移転ができるようにする。

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	9,900	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	9,900	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年度 事務事業 調書						事業主体	06020000	教育課・社会教育係					
大事業 C D	14	(目標)	-						中事業 C D	03	(施策)	-				
		(政策)									(主要な取り組み)					
小事業 C D	01	地域伝統文化継承事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	-		
款項目	09	教育費	05	社会教育費	09	文化財保護費	小事業区分	新規・継続			☒ 成果目標がない		目標値	-	目標年度	令和12年度

(単位：千円)									
	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額	
○ 経 費 計	40	町おどり保存会補助金					40	0	
1 報酬		町伝統芸能育成補助金							
2 〜4給料手当等									
5 災害補償費									
7 報償費									
8 旅費									
9 交際費									
10 需用費									
1 消耗品費									
2 燃料費									
3 食糧費									
4 印刷製本費									
5 光熱水費									
6 修繕料									
その他									
11 役務費									
12 委託料									
13 使賃料									
14 工事請負費									
15 原材料費									
16 公財購									
17 備品購入費									
18 負補交	40						40		
19 扶助費									
20 貸付金									
21 補てん賠									
22 償利割									
23 投資出資金									
24 積立金									
25 寄附金									
26 公課費									
27 繰出金									

○ 財 源 計	40	基準額・補助率・歳入科目コード等					40	
1 国庫支出金								
2 県支出金								
3 町債								
4 その他特財								
5 一般財源	40						40	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 1403】（文化芸術・文化財）「地域の伝統文化の継承」			
住民自身による地域の伝統行事（伝統文化）の継承活動を支援する。			
事業の概要			
町伝統芸能を伝承する団体に補助を行い、活動を支援する。 町内の文化財が後世まで残るように、適正な維持管理と活用をする。			
事業の実績			
おどり保存会への補助 令和 4 年度 補助団体数 0 団体 令和 3 年度 補助団体数 0 団体 令和 2 年度 補助団体数 0 団体 令和元年度 補助団体数 1 団体			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			
伝統文化継承への活動助成			

事務事業評価の結果（1 次）	-	R05 年度の計画額	40	千円
事務事業評価の結果（2 次）	-	R05 年度の上限額	40	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 - 評価なし